

クラシック・ギター

松尾 俊介

まつお しゅんすけ

京都府出身 東京都在住



【所属マネジメント】

株式会社ミリオンコンサート協会

住所：〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-21-10-702

TEL：03-3501-5638 FAX：03-3501-5620

担当：岩永直也 E-mail：iwanaga@millionconcert.co.jp

和田 健美 E-mail：wada@millionconcert.co.jp

■ やってみたいアクティビティとコンサート

●ギターがクラシック音楽の入り口に！

本当は子供たちが普段着で楽しめるはずのクラシックの演奏会も、なぜか敷居が高いと思われがちです。そこに身近なギターはクラシック音楽への入り口にピッタリ。音楽が気軽に楽しめるアウトリーチとコンサートをお届けします。

●アクティビティ例「その曲の魅力、気づいてますか？」

これまで「注文の多い作曲家」など、音楽の魅力を伝えるための様々なアクティビティを行うなかで、子供たちの敏感で楽しい反応だけでなく、音楽の本質を突いた感想に驚くこともしばしば。ここから一人でメロディも伴奏もできるギターならではの新しいコンテンツが生まれてきます。

●コンサート「ギター・アラウンド・ザ・ワールド」

舞台上には椅子1つの究極のシンプルさにも関わらず、ヨーロッパ音楽→南米のサンバやタンゴまでを世界を旅する「楽しい」と感じていただけるソロコンサート、他楽器との共演も含めて、本当のクラシック音楽の魅力に気づいていただけることを願っています。

■ 自己PR

10歳の時に家の物置から出てきた1台のギターに触れた瞬間、私の人生が大きく変わりました。音楽好きでもなかった少年がクラシックギターに夢中になり、地元のコンサートホールに自転車を通い、今では自分が各地に音楽をお届けしています。「ギター=小さなオーケストラ」で、音楽の魅力を様々な角度からお伝えできればと願っています。

PROFILE

パリ国立高等音楽院ギター科を審査員満場一致の首席で卒業。2005年、古楽と現代音楽に焦点を当てたファーストアルバム「ヴァリエ1」をリリースし、トッパンホールにてデビュー・リサイタルを開催。その後はHAKUJUギターフェスタ、ペオグラード国際ギターアート・フェスティバル、サラエボの冬などの音楽祭に招かれるほか、東京オペラシティ「B→C」、東京春音楽祭、ザ・シンフォニーホール「未来の巨匠がつなぐバトンリレーコンサート」シリーズなどに出演。これまでに東京交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団等のオーケストラと共演し、ソリスト、室内楽奏者として、邦楽との共演や新作の初演など多彩な演奏活動を展開している。

2016年に開催された武満徹没後20周年を記念したリサイタル「武満徹へのオマージュ」がNHK-FM「現代の音楽」で放送されたほか、バッハ作品をはじめ多数の編曲を手掛け、2019年には史上初のギター伴奏によるシューベルト「白鳥の歌」全曲演奏が

高い評価を得る。一般財団法人地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。

ギターを渡部延男、福田進一、アルベルト・ポンセ、キャレル・アルムス、オリヴィエ・シャッサンの各氏に、古楽をエリック・ペロック氏に、室内楽をラスロ・ハダディ、上田晴子の各氏に師事。CDは2008年マヌエル・ポンセ作品集「Varie4/Ponce Guitar Works」、2013年には自身がすべての編曲を手がけたバッハのリュート作品を中心とした「ギターが奏でるバッハの世界」、2015年「トリアエラ～ローラン・ディアンズ作品集」、2016年「エキノクス～武満徹へのオマージュ」をリリース、いずれもレコード芸術誌特選盤に選ばれる。近年はウィーン音楽集「ビーダーマイヤー」「ザ・マティーカ・トリオ」をリリースし、特に最新盤「ウィーンの余韻～ジュリアーニ・メルツ作品集」はレコード芸術オンラインで推薦盤に選ばれた。

松尾俊介 Web サイト：<https://shunsukematsuo.com>